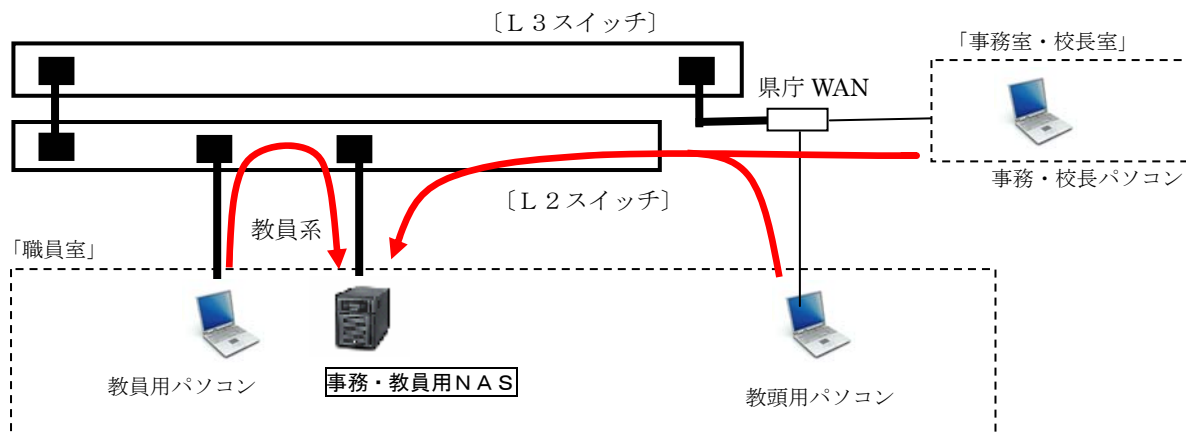


## 事務・教員用NASを使った事務室と職員室でのデータ共有方法について

事務用・教員用NAS（Buffalo 製 TS-WX1.0TL/R1）を使って、事務用パソコン・校長パソコン・教頭用パソコン及び教員用パソコンでデータを共有することができます。

（イメージ図）



（手順）

### （１）事務・教員用NASの接続確認

事務・教員用NASがL2スイッチの教員系の空きポートに接続されているか確認して下さい。  
事務・教員用NASがL2スイッチに接続されていない場合は、L2スイッチの3～9番ポート又は17番ポートが教員系のポートになっているので、空いているポートに接続して下さい。  
（教員系のHUBに接続しても構いません。教員系に接続し、生徒系に接続しないでください。）

### （２）NASの設定確認

NASのIPアドレスは、各校より指示があった設定情報に従い、業者により納入時に教員用IPアドレスが割り当てられています。

しかし、NASのデフォルトゲートウェイの設定がないと、事務用パソコン（県庁WAN側）からNASを確認することはできません。

以下の方法で、デフォルトゲートウェイの確認と設定をしてください。

## ONASの「デフォルトゲートウェイ」の確認・設定方法

パソコン納入時に業者より配布されている「平成21年度教育用パソコン機器 完成図書」の操作手順書「ネットワーク接続ハードディスク（NAS）運用手順書」に従って、教員用セグメント内の教員用パソコンからインターネットエクスプローラー（以下IE）を利用してWEB画面で確認・設定を行ってください。

以下は、運用手順書を見ながら進めてください。

（運用手順書には、各手順時の画面の指示があります）

（１）教員用パソコンからIEのプロキシ設定において、設定変更する事務・教員用NASのアドレスを除外します。※NASに正しくアクセスするための作業です。

①IEを起動し、「ツール」メニューより「インターネットオプション」を実行。

- ② 「接続」 タグをクリックし、「LANの設定」 ボタンをクリック。
- ③ 「詳細設定」 ボタンをクリック。
- ④ 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」 の欄に 事務・教員用NASのIPアドレス を入力し、「OK」 をクリック。

※事務・教員用NASのIPアドレスは、各校から業者に提出された「PC設定書」に従い設定済みです。

NASのIPアドレスは、 10. X. X. 254 のように、教員系のIPアドレスが設定されています。

- ⑤ IEの設定は終了です。

## (2) 教員用パソコンから事務・教員用NASへ接続します。

① IEを起動し、設定書にある事務・教員用NASのIPアドレスをアドレスバーに入力します。

② ログイン画面が表示されれば、以下を入力し、「ログイン」 ボタンをクリック。

「ユーザ名」: admin 「パスワード」: hyogoteacher

## (3) 教員用パソコンからデフォルトゲートウェイの設定

以下の画面が表示されるので、メニューより「ネットワーク」→「ネットワーク」をクリック。

- ・ IPアドレスの            には、納入時に設定された各校のNASのIPアドレスが表示されます。
- ・ デフォルトゲートウェイの            に、10. X. X. 254 を設定して下さい。

【最後の1桁は、254になっています】

下線部分は、           の前3桁と同じ番号です。



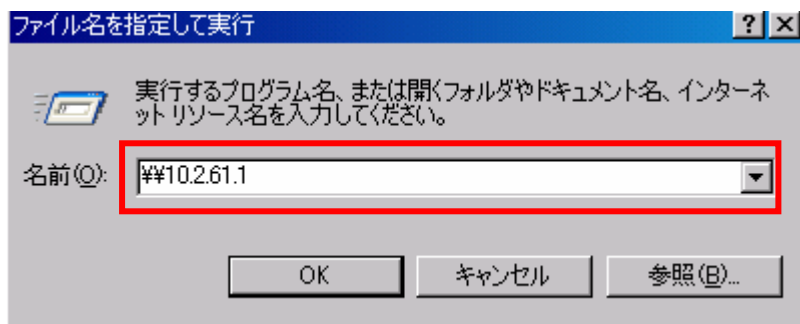
保存をクリックして、設定は完了です。

#### (4) 各パソコンからのNASへの接続方法について

- ①「スタート」→「ファイル名を指定して実行」と選択し、「名前」にNASのIPアドレスを ¥¥と組み合わせて入力。

例：IPアドレスが 10.2.61.1 の場合

¥¥10.2.61.1



- ②新しくウィンドウが起動し、その中に、NASの内部のフォルダが表示されます。

※学校ICT環境整備事業に係る導入ICT機器等の活用情報提供サイト

以下に同様の資料を掲載しています。

URL [http://www.hyogo-c.ed.jp/~its/ict\\_web/index.html](http://www.hyogo-c.ed.jp/~its/ict_web/index.html)

(教育情報ネットワークより閲覧可能)